

臨床心理学専攻

Graduate School of Social Well-being Studies / Major in Clinical Psychology

※国家資格（公認心理師）の受験資格に対応するカリキュラムを準備中です。

募集人員：修士課程 15名 | 開講形態：**昼間・夜間** | キャンパス：多摩

主な進路：国家公務員（法務省、厚生労働省）、地方公務員（心理職）、医療機関（心理職）、スクールカウンセラー、教育相談機関（心理職）、民間企業（心理職・総合職）など

多彩な教授陣と実習現場を通して、理論と実践を学ぶ。

社会のさまざまな心理臨床の分野で活躍する高度専門職業人（臨床心理士）と、臨床心理学の実践と科学に関わる研究者の養成を目的としています。

専任教員は、心理臨床、カウンセリング、精神医学等の第一線で活躍中の専門家です。広範囲な理論と実習、研究倫理に基づく修士論文の指導体制が整っています。医療・発達・教育に関わる豊富な実習現場と、学内の臨床心理相談室における実習教育にも特色があります。

大学院修了後すぐに臨床心理士試験が受験できます（第一種指定校）。修了生のほぼ全員が臨床心理士資格を取得し、臨床心理関係の専門職に就いて社会で活躍しています。また、博士後期課程（人間福祉専攻）への進学も可能です。

アドミッション・ポリシー

（学生の受け入れ方針）

心理学に関して、4年制大学の心理学科卒業程度の臨床心理学領域を中心とした知識・技能を修得していること、および心理学に関する基礎的な英語文献を理解できるレベルの英語力を有していることを受け入れの基準としている。具体的には、専門科目、英語に関する筆記試験および面接を実施している。

カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成・実施方針）

心のケアの専門家である臨床心理士を養成するという方針に基づいたカリキュラムを編成。近年の臨床心理学へのニーズの多様化、高度化に対応するために、臨床心理学の基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開する「専門展開科目」、臨床実践に関する「実習科目」および修士論文の指導を行う「研究指導科目」で構成している。

ディプロマ・ポリシー

（学位授与の方針）

本専攻は学位授与の方針として、心のケアの専門家に必要な知識・技能および基礎的な研究力を修得すること、と設定している。現代社会においてウェルビーイングを実現することができる人材の養成という人間社会研究科の教育目標を踏まえている。

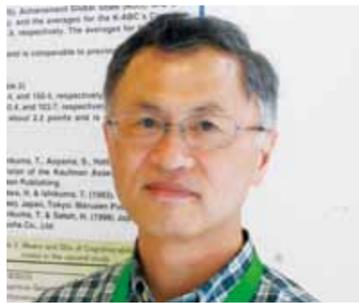
研究室紹介

心理テストに関する数理的な基礎理論と心理データ解析法の適切な使用方法を学ぶ

服部教授 | テスト理論と心理データ解析に関する理論と応用

いずれも心理テストと呼ばれますが、心理臨床では認知能力検査（知能検査）やパーソナリティ検査を必要とし、調査研究を進める中では心理尺度を必要とします。そのため、心理テストに関する基礎理論と心理尺度の構成方法、さらに、検査得点の統計解析法について学びます。また、皆さんには、特に修士論文の作成に必要な心理データ解析法を適切に使用できるようになって欲しいと思っています。臨床心理学専攻には比較精神療法、森田療法、カウンセリング、子どもの心理療法、心理査定などを専門とする教員がいますが、皆さんは研究室の垣根を越えて教員から指導を受けることができます。

※本専攻には、このほかに比較心理療法やカウンセリング・精神分析などの分野を扱う研究室があります。



Voice



修士課程 在学中
佐々木 友理加

個々人が抱える生きづらさとともに寄り添えるような臨床心理士になりたい

私の研究

従来、過度な依存は未熟の象徴として問題視されてきました。一方で近年は、依存を自己の上手な委ね方という人間関係の有り様として捉える意義も指摘されています。依存のあり方から、不安や孤独、人との関わり方について検討し、どのように支援に生かされうるか考えたいと思っています。また研究室では、教授や仲間と共有し、より適切で妥当な研究方法について模索しています。

将来の目標

臨床心理学の対象は、例えば不登校などの事例として成立するものを含む、投薬が奏効しない範囲まで扱います。治療においては、症状だけではなく、健康に機能している側面に着目することも求められます。私は、症状の改善に加え、個々人が抱えている生きづらさとのように付き合っていくかについて、ともに寄り添えるような臨床心理士になりたいと考えています。

【研究テーマ】大学生の依存性についての研究
—対象関係と自己肯定意識、完全主義との関連から—

専任教員と担当科目（2016年度）※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

小野 純平 教授 専 臨床心理学、発達臨床心理学、心理査定
研 被虐待の心理援助、発達障害のアセスメントと支援、臨床心理アセスメント
担 臨床心理査定演習 論文研究指導

関谷 秀子 教授 専 児童青年精神医学、精神分析学
研 思春期青年期の発達、精神分析的療法、親ガイダンス
担 精神医学特論 力動的療法特論 論文研究指導

長山 恵一 教授 専 比較精神療法、精神医学
研 内観療法・森田療法・精神分析の臨床と研究、ウェーバー社会学と精神科学の関連
担 臨床心理学研究法特論 比較心理療法特論 論文研究指導

服部 環 教授 専 教育心理測定学、心理データ解析
研 項目反応理論と心理データ解析に関する理論と応用
担 データ分析法 教育心理学特論 論文研究指導

岩田 美香 兼任教授(科目担当) 専 児童・家族福祉論、教育福祉論
研 子育て・子育ての社会的困難に関する研究、貧困家族に対するソーシャルワーク
担 児童福祉特論

中村 律子 兼任教授(科目担当) 専 高齢者福祉論、老いの比較文化論
研 高齢者施設処遇史研究、高齢者福祉制度の比較研究
担 高齢者福祉特論

久保田 幹子 教授 専 臨床心理学、心理療法（森田療法、カウンセリングなど）、心理査定
研 不安障害・強迫性障害に対する森田療法、女性の心理的危機と援助、比較心理療法など
担 臨床心理基礎実習 医療心理学特論 論文研究指導

末武 康弘 教授 専 臨床心理学、カウンセリング・心理療法
研 クライアント中心療法（パーソンセンタードセラピー）、フォーカシング指向療法の理論的・実践的研究
担 臨床心理基礎実習 臨床心理面接特論 論文研究指導

丹羽 郁夫 教授 専 臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法
研 子どもの心理療法、ソーシャルサポート・ネットワークング、コンサルテーション、移行対象
担 臨床心理実習 心理臨床演習 論文研究指導

金築 優 准教授 専 認知行動療法
研 認知行動療法の理論（特に知覚制御理論）に関する研究
担 臨床心理学特論 臨床心理実習 カウンセリング特論 論文研究指導

越智 啓太 兼任教授(科目担当) 専 犯罪心理学、臨床心理学、社会心理学
研 犯罪捜査における心理学の応用について研究
担 犯罪心理学特論

設置科目（2016年度）※開講科目は年度により異なります。（ ）内は単位数

<修士課程>	児童福祉特論(2)
臨床心理基礎実習(2)	高齢者福祉特論(2)
臨床心理学特論(4)	学校臨床心理学特論(2)
臨床心理面接特論(4)	グループ・アプローチ特論(2)
臨床心理査定演習(4)	臨床心理地域援助特論(2)
臨床心理実習(2)	投映法特論(2)
心理学研究法特論(2)	カウンセリング特論(2)
データ分析法(2)	力動的療法特論(2)
臨床心理学研究法特論(2)	比較心理療法特論(2)
認知心理学特論(2)	心理臨床演習(2)
教育心理学特論(2)	医療心理学特論(2)
発達心理学特論(2)	論文研究指導(4)
社会病理学特論(2)	
家族心理学特論(2)	
犯罪心理学特論(2)	
精神医学特論(2)	
障害者(児)心理学特論(2)	
産業メンタルヘルス特論(2)	

修了生の研究テーマ

- 自己受容と育児不安の関連について—夫婦関係の観点から—
- 内観療法における心理的変容のプロセス—愛着スタイルを中心に—
- 入院森田療法患者の体験分析
- 青年期の発達—子どもが両親から受ける影響の男女差—
- 外部EAP利用者における被援助行動を規定する要因
- 大学生の恥意識についての研究—対人恐怖心性と回避的傾向、及び心理的自立との関連から—
- コラージュを実施した際の効果とその男女間および性格傾向の差異
- 中国人留学生の対日本人関係ストレスとそのコーピング—対処可能な領域の模索を中心に—